

寒い冬を終えて暖かな3月に。
焦らず安全運転で、気持ちの良い日々を過ごして下さい。

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



きゃ～、あたる

この映像の訴求ポイントは…

- ◎相手車が前を見ているも自車に気付いているとは限りません。
- ◎見通しの悪い交差点はスピードダウン。今回は車だったが…

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



腹八分目に医者いらず

この映像の訴求ポイントは…

- ◎進路変更時は必ず目視による斜め後の確認が必要です。
- ◎併走車の斜め45度の位置は死角です。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



右折のバイク良く見えましたね。

この映像の訴求ポイントは…

- ◎見通しの悪い場所からは何かが出てくるかも！
- ◎停車・徐行の先には何かがある。安易な追い抜きは危険です。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



急ブレーキまたは気づきのためのチョイ警笛

この映像の訴求ポイントは…

- ◎ガードレールのない場所は飛び出し警戒箇所。
- ◎交差点での追い抜きは事故の元。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



伊勢湾岸ミッドナイト 昼だけど・・・

この映像の訴求ポイントは…

- ◎車は速度を出させたくするもの。そこをグッと堪えて安全運転。
- ◎なぜ制限速度が存在するのだろう？

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】高齢ドライバー、こんなコトに当てはまったらご用心

いつまでも若々しく、元気に過ごしたいものですよね。しかし、人は必ず年齢を重ねるとともに心身に衰えが出てきます。体力や視力の低下とともに、記憶力や判断力といった認知機能も低下していきます。

近年、社会的な問題となっているのが、高齢ドライバーによる交通事故です。

もともと自動車の運転は、人が行う操作でもかなり高度な作業です。自動車の運転は、刻一刻と変わる人・車・道路の状況を適確に認識し、危険を予測して、それを回避するために必要な運転操作を機敏に、確実に行うことが求められます。

高齢ドライバーによる交通事故では、踏み間違いといった不適切な運転操作による事故、信号無視や逆走といった危険運転による事故など、その多くは心身両面の衰えが原因になっていると見られています。そのなかでも危険運転については、認知機能の衰えに原因がある事例が多く、対応が急務になっています。

国のまとめでは、65歳以上の4人に1人は認知症か認知症予備軍（軽度認知障害）とされています。軽度認知障害は、早期に発見し、適切な対策を行うことで、認知症への移行を防止できると考えられています。しかし、普段の生活にはあまり支障がなく、必要な検査を受診する機会が少ないため、早期発見が難しいとされています。

そのようななか、高度な判断操作が必要な自動車の運転と軽度認知症との関係が、最近、注目されています。例えば、「車を運転する前に、免許証や車のカギを探し回ることが増えた」とか「曲がる時にウインカーを出し忘れることが増えた」といった自動車の運転時に現れやすい状態をチェックすることで、軽度認知症の早期発見につながるのです。

下記では、様々な研究成果や知見をもとに、運転時認知障害を早期発見するための設問リストやプログラムを公開しています。運転に不安があるご高齢の方やご家族の方は、不安を解消し、未永く安全に運転を楽しむための第一歩として、下記の設問リストやプログラムで軽度認知障害のチェックをしてみてもはいかがでしょうか？

○特定非営利法人高齢者安全運転支援研究会

「運転時認知障害早期発見チェックリスト30」

<http://sdsd.jp/untenjiniunchisyougai/checklist30/>

○JAF Mate Park

「運転時認知障害早期発見プログラム」

<https://www.drive-mci.jp/>



ご自身の今の状態を正しく認識するのが、未永く安全運転を楽しむ第一歩です。